



# 飛躍の出来る今年!! 健康をかみしめて進んでいこう。

令和5年新春号 発行者／小山 正弘 編集／あきる野市町内会・自治会連合会 広報部会



明けまして  
おめでとうございませす

あきる野市町内会・自治会連合会

会長 小山 正弘

## 自己紹介

自己紹介の定番というところ好きな食べ物、今回はそれについて書きます。大根のおろしを抜きの「一夜漬け」です。大根の種をまいて、小さいうちに間引きをした、あのやわらかい葉や根を塩でよくもんで一晩おいたもの。

子供のころから大好きです。味の素や醤油をかけてもおいしい。これを白いご飯にのせてかきこみます。他のおかずが要りません。

ある日、母が庭にある一坪ほどの畑に大根の種をまいてました。「大根をそんなにまいても食べきれないじゃん？」と聞くと「全部おろし抜いて一夜漬けにするんだよ。正弘はそれが好きだんべ」と言います。父を早くに亡くし、女手ひとつで男の子二人を育てている母は、仕事をしたリ家事をしたり、とても忙しいのです。そりゃ、大根のおろし抜きは好物ですけど・・・うれしいというより不思議でした。「親ってなんぞそんなことをするんだらう」と。

年月が経ってみて「子を持ってわかる親の・・・不思議」

いきなりですが、昨年はあまり良い話が聞けなかった気がします。唯一、暮れにサッカーのW杯で強豪ドイツ、スペインに逆転勝ちしたことが明るい話題でしょうか。ブラボーでしたね。しかし、一般市民はウイズ・コロナで少しずつ、元の生活に穏やかで楽しい日々を取り戻そうとしています。わが連合会も少しずつ以前のような活発な町内会・自治会となるよう努めてまいります。その活動を推進していくのが連合会の三部会(活動部隊)です。

①**広報部会**は主にこの会報を作成しています。各町内会・自治会で実施したこと、連合会の活動内容などを伝えていきます。

②**事業部会**は加入促進につながる事業を企画・運営しています。でも、コロナのため中々思うような事業が実施できていないのが実情です。

③**総務部会**は他の部会に属さない課題を検討・実施しています。規則の改正、意見交換会の開催、回覧物の見直しなどを行っています。

皆さんのお役に立つよう、張り切っておりますので、皆さんも期待してください。

さあ、皆さん、共に地域を盛り立てていきましょう!!

今、こんなことしてます



▼コロナ禍の3年間は、各町内会や自治会にとつて過去に経験したことのない事態であり、中止する活動が数多くあったのではないだろうか。▼執行部の役員は恒例行事の実施に当たって、感染防止と会員の理解と協力が得られるかを考慮し、実施の可否の決断を迫られたと思う。▼こんな年の4月に私は自治会長に就任した。▼総会は書面表決、各種会合や行事等も全て中止となり、手探りの運営がはじまった。▼2か月が過ぎた頃、会員の皆さんはどうしているのか、自治会長として何をすべきなのか、何ができるかということを考えるようになった。▼そんなある日、私たちの地域の駐在さんが真夜中にパトロールをして、一軒一軒はがき大の紙をポストに入れてくれた。▼特殊詐欺や各種犯罪の情報とともに見回り時刻と無事の確認をメモしてあった。▼定期的に入れていただくカードを見て、住民は皆安心感と感謝の気持ちを抱き、癒されていることに気付いた。▼今、住民が求めているのは「絆」と「安心・安全」ではないかと。▼そして、活動が出来る、人の交流がなく、絆が薄れていくような気がした。▼そのために、私は会員に共通の情報を提供したり啓発をしたりすることで、安心・安全な暮らし、住んでいてよかつた実感で暮らせる地域にしようと考え、自治会だより「若鮎」を発行することにした。▼各町内会・自治会はコロナ禍でも徐々に活動が始まってきている。▼地域の実態や課題を捉え、会員の英知を結集し、会員が安心・安全に住んでいて良かったと実感できる町内会・自治会にしていきましょう。

中村自治会 会長 宮崎 慶一

安心・安全

## 楽しかった・おいしかった芋煮会

大塚自治会 会長 石 関 京 子

飲食をともなった芋煮会(防災訓練・高齢者お祝いを兼ねる)が、すももぎ幼稚園で久々に行われました。今年は密を避けたり大声での会話をさけるなどして、芋煮の合同飲食会が行なわれました。小林さんのサクソ演奏、最後に1等商品券から参加賞まで豪華賞品の当たる抽選会とイベントが進みました。「サクソ演奏にうっとりした」「芋煮の味がよくでていた」などの声も聴けました。班長さん始め大勢の皆様方のご協力ご参加により大成功を取めた芋煮会でした。ありがとうございました。(70名参加)



▲ござ席でひざを交えて



▲愛情たっぷり芋煮



▲小林さんによるサクソ演奏

## 3年ぶり開催 市内唯一の野辺町内会運動会

野辺町内会 会長 丸 山 誠 司

10月30日、あきる野市立東秋留小学校校庭で第46回野辺町内会運動会を3年ぶりに開催。来賓も多数おいでになりました。運動会に防災の側面も取り入れ、日本赤十字東京都支部秋川地区用の災害用移動炊飯器を使用し、アルファ米を炊き出した。競技種目には防災バケツリレーや担架リレーを組み込み、担架リレーの前には角材と毛布を使った簡易担架の作り方を、あきる野市消防団第1分団第1部の解説で行った。昼休みにはアルファ米を食べながら、地域の「和太鼓武天」の勇壮な太鼓演奏を楽しんだ。幼児から90歳代の参加者約650人は、「青空のもと、気持ちよく運動ができた」「久々の運動会。地域交流の大切さを実感した」「担架の作り方が勉強になった」「若い方々が積極的に手伝ってくれた」などと笑顔で話していた。



た」「久々の運動会。地域交流の大切さを実感した」「担架の作り方が勉強になった」「若い方々が積極的に手伝ってくれた」などと笑顔で話していた。

## 西秋留探訪ウォーキング(防災ウォーキング)

下代継町内会 会長 平 野 吾 一

3年ぶりの町内会の行事になりました。例年、下代継町内会では、この時期に「西秋留探訪ウォーキング」を行っていましたがコ



ロナも下火になってきたので、やっと実施することができました。今回は防災訓練を兼ねたウォーキングをすることになりました。朝9時に稲荷公園に集合して、先ずハザードマップに掲載されている災害時協力拠点井戸に行き、手押しポンプの水汲み体験をしました。地元の白滝神社では奉賛会にお願いして、普段はなかなか近くで見ることのできない貴重な文化財でもある、彫刻が多く付けられた本殿を拝することができました。上代継浄水所では東京都水道局あきる野サービスステーションの職員の方から非常用の給水袋をいただき、実際に給水体験をさせていただきました。最後に稲荷公園で秋川消防署の署員の方から、災害に対する心構え等について講演していただきました。当日は40名が参加して、天候にも恵まれて楽しくウォーキングをすることができました。



スステーションの職員の方から非常用の給水袋をいただき、実際に給水体験をさせていただきました。最後に稲荷公園で秋川消防署の署員の方から、災害に対する心構え等について講演していただきました。当日は40名が参加して、天候にも恵まれて楽しくウォーキングをすることができました。

### お詫び

前号49号の記載文中にお名前にミスがありましたので、訂正をいたします。

誤り：中村自治会 会長 宮崎 慶一様  
訂正：中村自治会 会長 宮崎 慶一様

広報部会  
石毛 正典

この秋は3年振りに各町内会・自治会に於ける行事活動が活発に行われたようで、大変喜ばしい事だと思えます。やはり町内会・自治会は何らかの活動をして、会員の皆様に参加し顔を合わせちよつとした会話ができる事が大切だと思います。

産業祭も大盛況で、皆が祭り事を待ちに待っていたんだなとつくづく思いました。

コロナの終息もなかなか見えませんが、各町内会・自治会も創意工夫して会員の皆様の集りが続けられるようにしていきたいと思えます。

編集後記